



ふるさと笠松の「ちょっといい話」No.73



「なぜ、岐工の野球部は清掃活動をするのでしょうか？」



岐阜工業高校の近くを清掃中の様子↑

左の写真は、岐阜工業高校の近くの道路を中心に、自主的に清掃している硬式野球部員の様子です。それも朝の8時頃です。ふつうなら朝練習を行っている時間です。どうして掃除をしているのでしょうか？とても不思議に思い、掃除をしている部員の方に聞いてみました。

問 朝の掃除をはじめたきっかけは何ですか？

答 私たちの野球部は、もっと強くなりたいと願っています。そこで、監督に相談したら、「強くなるためには技術だけを磨いてもだめだ。心の面、心が強く変わらなくては強くなれない。」と言われました。そこで、恥ずかしさはとてもありますが、心を強くするために、学校周辺の清掃活動に取り組んでいます。

問 朝の練習はどうしていますか？

答 部員を朝練習組と掃除組とに分けて、心と技術の両方が身に付くように工夫しています。道路がきれいになると、心がすっきりします。心も強くなった気がします。弱い心を強くし、早く強いチームになりたいです。

ご苦労様です。心から応援しています。頑張れ野球部！

「義務」と「責任」の違いは？・・・広辞苑には、「義務」とは「自己の立場に応じてしなければならないこと」とあります。「責任」は、「人が引き受けてなすべき任務」とあります。つまり野球をしていて、隣の家のガラスを割ってしまったとき、自主的に謝りに行って許しをこえれば「責任」を果たしたことになり、誰かに言われてから謝れば「義務」を果たしたことになります。義務でも責任でもどちらでもよいのかもしれませんが、ともかく、悪いことをしたらきちんと謝れる人になりたいですね。

いじめにもつながる「引き下げの心理」を防ごう。



人には自分より優秀な人を見ると、つい批判したくなってしまいう「引き下げの心理」というものがあります。自分より優秀な人を批判することで、自分のプライドを守っているのです。人のやることにケチをつけて、引きずり下ろし、自分の劣等感を消そうとするのです。この「引き下げの心理」は無意識に働くため、実にやっかいです。無意識のうちに、人の悪口を言ったり、人をバカにしたりしてしまうのです。そのため、学級ではたった一人の「引き下げの心理」から、いじめに発展することもあります。これを防ぐためには一人一人の自尊感情、すなわち、自分に誇りや自信を持ち、自分を大切に思う感情を高めることが一番です。



では、自尊感情を高めるためには、どのような方法があるのでしょうか？一つの方法としては、「いいところ探し」です。まず、自分と班のいいところをメッセージカードに記入して班の人に渡します。メッセージカードは大切に台紙に貼っていきます。次の週は前後の班で、その次の週は隣の班で、最後は学級全体で「いいところ探し」を行います。もちろん、この「いいところ探し」は何のために行うのかを、十分に理解し合ってから行わないと効果は望めません。人のいいところを発見し、認めることは自分の成長につながります。

(アイユ 6月号 鹿嶋 真弓さんより引用)

●心あたたまるといい話●それは★意外な話★ピンチに天使が舞い降りた話
☆いい言葉は人生を変える。・・・自分が笑えば相手も笑顔に！・・・邑井 操 (評論家)

人間関係はこちらの出方次第。あたかも鏡の前に立つようなもの。こちらが笑えば向こうも笑う。こちらがしかめ面をすれば、相手も渋面になる。(自分次第で、相手の雰囲気が変わる。)
※皆さんから「ちょっといい話」を募集しています。笠松中央公民館担当まで電話やFAXなどで連絡をお願いします。